

アジア・アフリカ地域の農民組織等の能力向上支援事業

【令和5年度予算概算決定額 94（-）百万円】

<対策のポイント>

昨今のCOVID-19の長期化やウクライナ危機等を背景とする世界的な食料安全保障の危機に直面している状況のなか、農産物の生産性や農民組織等の脆弱性などの課題を抱えるアジア・アフリカ地域に対し、**国際機関などと連携し、農民組織等の育成・強化及び生産性・品質の向上に資する人材の育成を支援**します。このことにより、地域経済の活性化ひいては現地の食料安全保障の確保に貢献します。

<政策目標>

各研修終了後の研修員のアクションプラン作成率80%、各研修終了1年後（3年度目は半年後）のアクションプランの実行／着手率70%以上。
（アフリカ地域及び後発開発途上国は50%以上）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. アジア・アフリカ地域（ICA拠出分）

43（-）百万円

- 大洋州地域を含む**アジア地域**では、農民組織等を対象に日本及び現地にて農民組織育成、女性の能力向上に資する人材の育成等を国際協同組合同盟(ICA)と連携して実施します。
- アフリカ**では、**世界農業者機構(WFO)の会員組織**を対象に、地域的課題への対応、農民組織の脆弱性等克服に資する人材育成等をICA、WFOと連携して実施します。

WFO：世界最大級の農業者組織の国際機関。欧州・アフリカの会員が中心。日本からは3組織、世界で50(15)ヶ国74(23)組織が加盟。* ()はアフリカで内数

2. アセアン地域（ASEAN事務局拠出分）

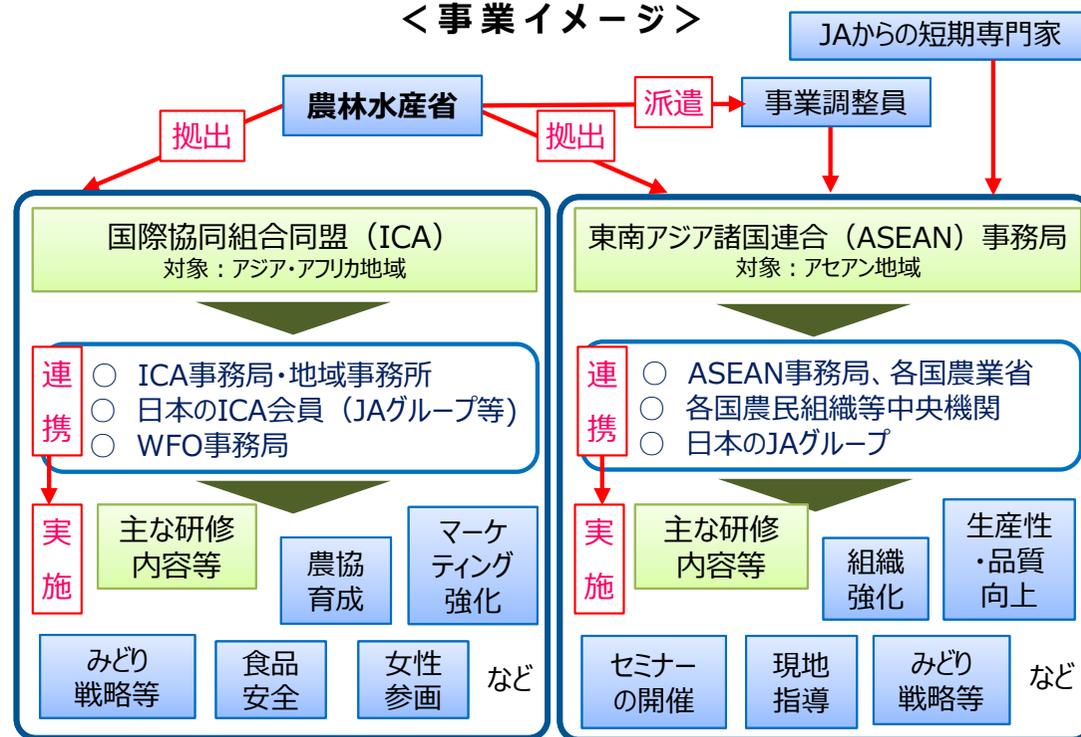
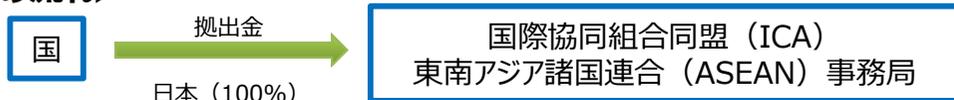
51（-）百万円

アセアンでは、日アセアン首脳会議の議長声明に2年連続で「農業組合の能力構築」が記載されるなど、我が国への期待が表明されました。これに応えるため、農民組織等を対象に、**農民組織等の育成・強化及び生産性・品質向上に資する研修・セミナー等を域内間協力を中心に、ASEAN事務局、JAグループと連携して実施**します。

3. 共通事項

- 研修では、「**みどりの食料システム戦略**」や「**気候変動対策**」など、我が国が重視する農業政策等の周知・啓蒙を図ります。
- 研修は**対面実施**を基本とし、コロナ禍など非接触を要する状況等では、研修生の通信インフラの整備支援を含めたオンライン対応を可とします。（**研修ハイブリット化**）

<事業の流れ>



期待される効果

- 地域経済の活性化を通じた**現地の持続的な食料安全保障の確保**に貢献
- 現地の所得・購買力向上により**我が国の農産物輸出、海外展開先を醸成**
- 品質・安全基準面での人材育成を通じた**我が国の調達先多角化**に貢献

【お問い合わせ先】 輸出・国際局 新興地域グループ (03-3502-5930)